

附属校のNEWS

立命館中学校・高等学校

「Japan Super Science Fair 2021」をオンラインで開催

2021年11月2日（火）～5日（金）、立命館高校のスーパーサイエンスハイスクール事業における中心的取り組みの一つ「Japan Super Science Fair（以下、JSSF）2021」が開催されました。JSSFは世界中の高校生が参加する国際的な科学研究発表・交流会で、立命館高校の生徒たちが準備・運営に取り組んでいます。2003年から継続して実施、19回目となる2021年度は、コロナ禍のため2年連続のオンライン開催となりました。世界19カ国・地域から57校（海外38校・国内19校）が参加、科学研究発表を中心に、科学講義・科学討論・問題解決型ワークショップ・文化交流など、国際交流が行なわれました。

立命館宇治中学校・高等学校

立命館宇治高校の2022年3月卒業生、
THE世界大学ランキングトップ20に7名が進学

2022年3月に立命館宇治高校を卒業した18名が海外大学に進学（2022年9月11日（日）時点）、うち7名がイギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education（THE）」のTHE世界大学ランキングでトップ20の大学に進学しました。今後も世界水準の教育によって、海外大学での学問研究に耐えうる英語力・知力・探究心を育成し、生徒が希望する多様なキャリアをサポートしていきます。

立命館慶祥中学校・高等学校

中地明さん（立命館慶祥高校3年生）、
「第54回国際化学オリンピック中国大会」で金メダル

7月10日（日）～18日（月・祝）、「第54回国際化学オリンピック中国大会」がオンラインにて開催され、中地明さんが金メダルを獲得しました。同大会は

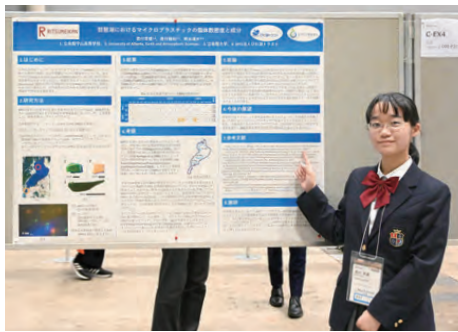


中等教育水準の化学の実力を競う世界大会で、日本国内では3,257名がエントリー。4回にわたる選考を経て、中地さんを含む4名が選抜され、出場した日本代表全員が金メダルに輝きました。また、国際化学オリンピックでの金メダル獲得は北海道初の快挙です。

立命館守山中学校・高等学校

君付茉優さん（立命館守山高校3年生）が
「日本地球惑星連合2022大会」で学会発表を行ないました

5月22日（日）、千葉県幕張メッセで開催された「日本地球惑星連合（以下、JpGU）2022大会」で、サイテック部の君付さんがポスター発表をしました。JpGUは、地球惑星科学に関連する51の学会・協会が参加、会員数約一万人の大規模な学術組織です。君付さんは、「琵琶湖におけるマイクロプラスチックの個体数密度と成分」というタイトルで発表しました。2019年から3年間に及ぶ研究調査の集大成で、これまで調査船「はっけん号」に乗って琵琶湖の水を採水し、特殊な試薬を用いてマイクロプラスチックに関する調査を行なってきました。その結果、マイクロプラスチックの個体数は南湖より北湖の方が多いことが明らかとなりました。また、その要因が北湖に見られる還流や滞留時間（湖の水が入れ替わる時間）の長さによる影響であると解明しました。



立命館小学校

大崎珀寧さん（立命館小学校1年生※当時）、
「第12回創作漢字コンテスト」で最優秀賞を受賞！

2021年12月23日（木）、産経新聞社・立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所主催「第12回創作漢字コンテスト」において、小学生から社会人まで幅広い世代の方から寄せられた14,327点の作品の中から、大崎珀寧さんの「にじ」が最高賞「白川創作漢字最優秀賞」に輝きました。「空に虹がかかったら、みんなが上を向いて幸せな気持ちになります。はやくコロナがやんで、地球に大きな虹がかかってほしい」とこの文字を作りました」と大崎さん。「色」の上部を「7」に変え「七色のにじ」を表現した点などが審査員から高く評価されました。



読み：にじ

BOOKS FOR BOOKS

～立命館の本活～

読み終えた本の買取額を寄付金として活用し、
新しい図書の購入に役立てる古本募金活動を2013年度より実施しています。

実績

342,741冊（8,118,120円） 7,353名 2013年4月～2022年8月

●活用事例

2013年10月	立命館小学校	1～6年生の必読書（43冊）
2014年8月	立命館大学	衣笠・BKC図書館 英語多読本・日本語学習教材（307冊）
2015年2月	立命館小学校	児童たちからリクエストを募り選定した図書（34冊）
2017年3月	立命館大学	OIC図書館 学生アンケートを募り選定した図書（470冊）
2018年3月	立命館小学校	児童たちからリクエストを募り選定した図書（31冊）
2019年3月	立命館小学校	児童たちからリクエストを募り選定した図書（41冊）
2020年3月	立命館小学校	児童たちからリクエストを募り選定した図書（16冊）
2021年2月	立命館大学	衣笠・BKC・OIC図書館 文学賞受賞小説・実用書等（990冊）
2021年3月	立命館小学校	児童たちからリクエストを募り選定した図書（4冊）

なお、購入された本には、「古本募金により集まった寄付で購入した」ことが分かるシールを貼付。

手に取った学生・生徒・児童たちに、ご支援いただいた方々の想いが少しでも届いてほしいという願いを込めています。



ご寄付のお礼とご報告

DONORS NEWSLETTER 2022





Be the first penguin.

挑戦を、失敗を、恐れるな。

ファーストペンギン。

それは、何が潜むかわからない海の中へ最初に飛び込むペンギンのこと。

失敗を恐れず勇気を持って飛び込む人を表す言葉でもある。

この激動の時代に必要なのは、挑戦や失敗を恐れずに最初に飛び込み
社会の課題を解決し世界を変えていくファーストペンギンだ。

学生の起業を支援するプログラム「RIMIX^{*}」の立ち上げから3年、
すでに、新しい常識をつくるファーストペンギンたちが生まれている。

自らの意志で社会への問いを立て、自由に発想する。

「こうあるべきだ」「こうでないといけない」という既成概念や天井を壊そう。

挑戦をもっと自由に楽しもう。

あなたの目の前には、誰も潜っていない大海原が広がっている。

Be the first penguin. 挑戦を、失敗を、恐れるな。

あなたの前には、
誰も潜っていない大海原が広がっている。

Futurize.

きみの意志が、未来。

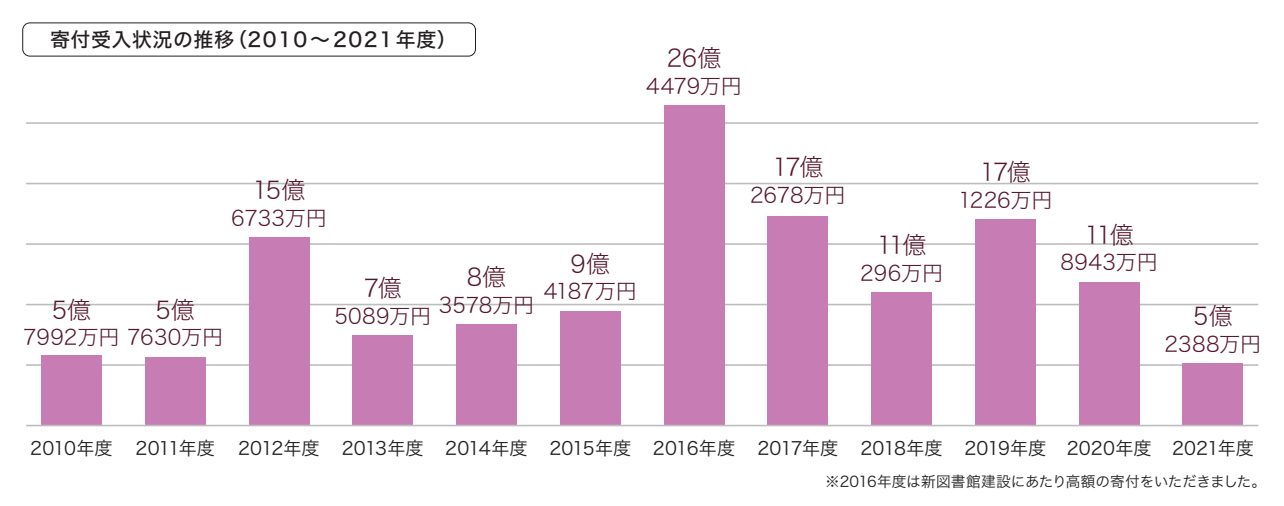
立命館大学

※RIMIX：立命館・社会起業家支援プラットフォーム
Ritsumeikan Impact-Makers Inter X (cross)

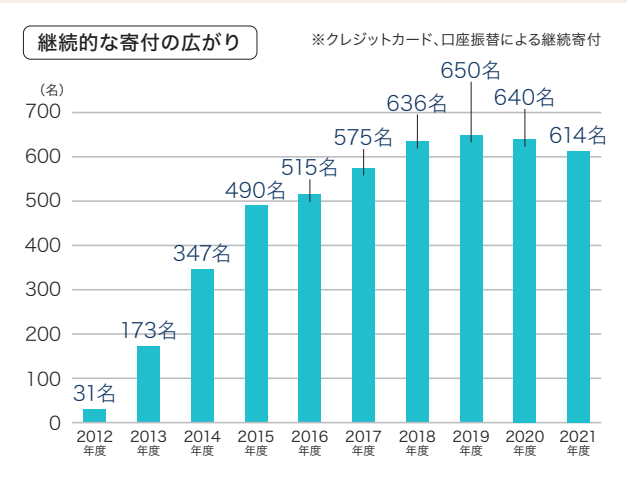
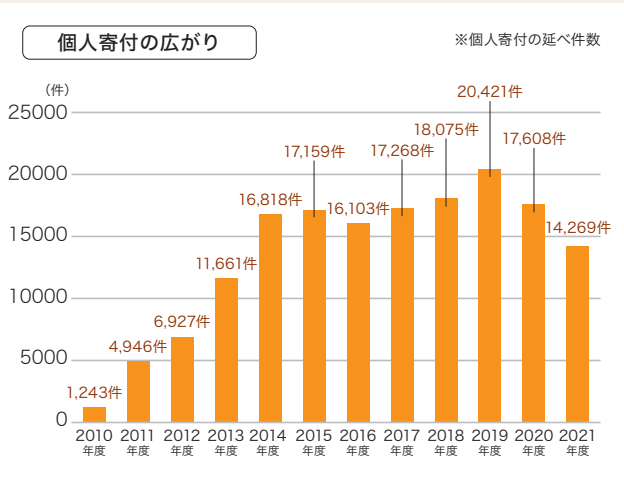
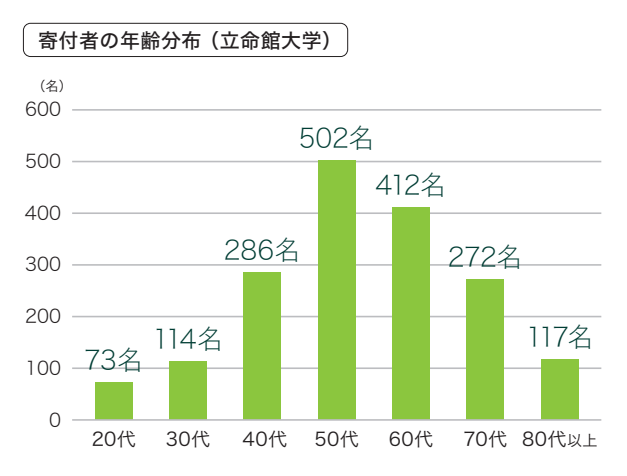
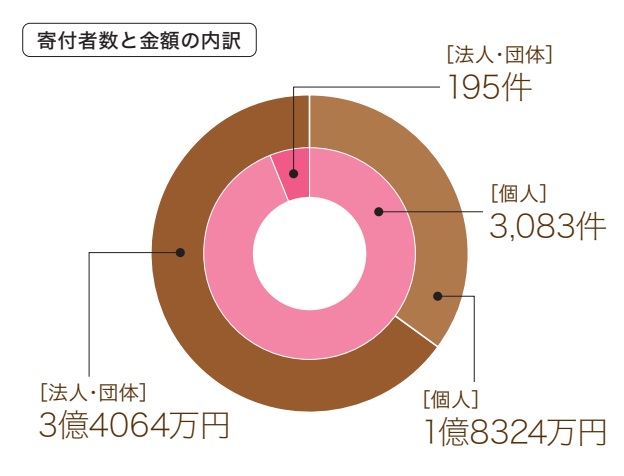
2021 年度実績報告

皆様からいただきましたご支援についてご報告させていただきます。2021年度は総額約5.2億円の温かいご支援を頂戴しました。

[寄付金額の推移]



[2021 年度 寄付受入状況]



楽天生命パーク宮城にて「立命館大学デー」実施

7月16日(土)、立命館大学と立命館大学校友会は楽天生命パーク宮城にて、「立命館大学デー」と称して冠協賛デーを実施しました。当日は「東北楽天ゴールデンイーグルスVSオリックス・バファローズ」の試合が行なわれ、スタジアム外では東北楽天ゴールデンイーグルス・辰己涼介選手(産業社会学部2019年卒)の立命館大学時代を振り返る「ヒストリーコーナー」、辰己選手の等身大パネルと一緒に写真が撮影できる「ヒーローインタビューお立ち台風フォトスポット」を設置し、多くの観客の方々が訪れました。スタジアム内では、各種ビジョンに「立命館大学」の文字を表示したり、辰己選手の写真を用いた映像やグレーター立命が流れるなど、「立命館大学デー」を盛り上げる演出もありました。また、種子田穰・スポーツ健康科学部教授のゼミ生も当日の企画・運営に関わり、スポーツビジネスについて学びを深める貴重な機会となりました。始球式にはお笑いコンビ「サバンナ」の八木真澄さん(産業社会学部1997年卒)、高橋茂雄さん(産業社会学部1998年卒)が登場し、高橋さんが見事な投球を披露しました。辰己選手は7番センターで先発出場、7-3で見事勝利を収めました。約450名の立命館ファミリーが集まり、観戦を通じて交流を深めながらスタジアムをエンジ色に染めました。

立命館大学の公式 YouTube チャンネル

RITSUMEIKAN CHANNEL

他にも様々な動画をご紹介します。是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/user/ritsumeikanu/featured>

RITSUMEIKAN UNIVERSITY SONG

立命館大学の校歌をさまざまな楽器で演奏したシリーズ動画を公開しています。

立命館大学 校歌
チェロ Ver.
RITSUMEIKAN
UNIVERSITY SONG
(Violoncello Performance)

PLAY MOVIE

学生・校友の活躍

学生の活躍

ホッケー部(男子)「第41回全日本大学ホッケー王座決定戦」優勝

7月18日(月・祝)、「第41回全日本大学ホッケー王座決定戦」の決勝戦が立命館OICフィールドで行なわれ、ホッケー部(男子)が天理大学に2-0で勝利、3大会ぶり8回目の優勝を飾りました。今大会の最優秀選手には、主将・佐伯尚憲選手(総合心理学部4年生)が選出されました。



佐伯尚憲選手



校友の活躍

第167回芥川賞 校友の高瀬隼子さんが受賞

7月20日(水)、「第167回芥川龍之介賞」の選考委員会が開催され、高瀬隼子さん(文学部2011年卒)の『おいしいごはんが食べられますように』(『群像』2022年1月号掲載、単行本：2022年3月講談社発行)が選ばれました。



高瀬さんは、2019年に『犬のかたちをしているもの』(『すばる』2019年11月号掲載、単行本：2020年2月集英社発行)で「第43回すばる文学賞」を受賞し、作家としてデビューされました。2021年には『水たまりで息をする』(『すばる』2021年3月号掲載、単行本：2021年7月集英社発行)が「第165回芥川賞候補」にノミネートされ、今回2度目の候補作で受賞を果たしました。受賞作『おいしいごはんが食べられますように』は、仕事・食べ物・恋愛を軸に、とある職場で繰り広げられる男女の複雑な人間関係を描いています。

高瀬隼子さんのコメント

このたび、『おいしいごはんが食べられますように』という小説で、第167回芥川龍之介賞を受賞いたしました。わたしは、大学在学時に所属していた立命文芸創作同好会の友だちと、大学卒業後も文芸同人サークルの活動を続けてきました。小説は1人でも書き続けていたに違いないのですが、作品の更新に自覚的でいられたのは、立命館時代からの友だちのおかげです。大学で出会えた友だち、先生方、哲学専攻での学びや、あの場で得られた経験の全てに感謝しております。ありがとうございます。



写真：嶋田礼奈／講談社

未来を切り拓く研究者



立命館大学は2006年から3期15年にわたって研究高度化中期計画を策定して研究を推進してきました。そして、2021年を一つの転換期として捉え、2030年代に向けて「社会共生価値を創造する次世代研究大学」を目指すという大きな目標を掲げました。その具体的施策の一つとして、2021年6月、立命館大学の研究を牽引する中核研究者の集まり「アカデミー」として、立命館先進研究アカデミー〈Ritsumeikan Advanced Research Academy (以下、RARA)〉を立ち上げました。2022年3月25日(金)、立命館朱雀キャンパスにてRARAフェロー任命式を開催、選拔された10名の研究者に対して仲谷善雄・立命館大学長が任命証を手渡しました。「RARAフェロー」は学内外から広く公募、フェローとなった研究者一人ひとりが掲げる研究目標やキャリアに応じた最適な研究支援を行なう新たな制度です。RARAフェローは、オーダーメイドの研究サポートを受け、研究成果の創出とともにNodes(人や研究を繋ぐ結合点)となり、そのネットワークを拡大しながら、先進研究を大きく前進させる役割を担います。今後の活躍にご注目ください。

2022年度立命館先進研究アカデミー (RARA) フェロー

小川さやか	先端総合学術研究科教授
折笠有基	生命科学部教授
小西聡	理工学部教授
定藤規弘	総合科学技術研究機構客員教授 (大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所)
末近浩太	国際関係学部教授
高橋政代	総合科学技術研究機構客員教授 (株式会社ビジョンケア)
田中覚	情報理工学部教授
谷口忠大	情報理工学部教授
中川毅	総合科学技術研究機構教授
持丸正明	総合科学技術研究機構客員教授 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)

※氏名 五十音順

任命式でのコメントを一部ご紹介

中川毅
総合科学技術研究機構教授
自分が実現したい目標と、RARAフェローに求められる使命が一致していることに感動しています。成果を出せるよう全力を尽くします。

末近浩太
国際関係学部教授
RARAフェローに選出いただいて光栄です。ビックデータなどを活用して新しい地域研究を進めていきたいと思います。

RARA ウェブサイト



RARAフェローの活動などを発信しています。



立命館の四季

各キャンパスの季節の移り変わりを動画でお楽しみください。

